

【NEWS RELEASE】

2026年3月12日

各 位

株式会社三井住友銀行

大田区とのSDGsの推進に関する連携協定の締結について

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：中島 達、グループを総称して「SMBC グループ」）傘下の株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）は、SDGs 推進に関して相互に連携・協力して取り組むため、大田区（区長：鈴木 晶雅）と「SDGs の推進に関する連携協定書」を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 背景・目的

大田区は SDGs の達成に向けて優れた取組を提案する都市として、内閣府より 2023 年度の「SDGs 未来都市」に選定されるとともに、その中で特に優れた先導的な取組を行う「自治体 SDGs モデル事業」にも選定されました。

一方、三井住友銀行では、大田区との SDGs に関する公民連携イベントの共催や広範なネットワークを活用した事業支援等を通じ、「社会的価値の創造」に向けた取組に注力してまいりました。こうした両者の施策が合致し、今般、連携協定の締結に至りました。

本協定においては、それぞれの持つ資源を活用して連携および協力をすることにより、SDGs の達成に寄与することを目的としております。

2. 連携・協力事項

- (1) SDGs の普及啓発に関すること。
- (2) 大田区 SDGs 認定制度の活用及び認定事業者支援に関すること。
- (3) 持続可能な地域社会の実現に向けた公民連携および事業化の推進に関すること。
- (4) その他連携による取組が必要と認められること。

SMBC グループは、2023 年度からの現中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」において、「社会的価値の創造」を経営の柱のひとつに据えております。

本協定の締結を通じ、三井住友銀行は大田区の施策と密接に連携することで、三井住友銀行の有する情報・ノウハウを最大限に活用し、SDGs の推進と「社会的価値の創造」に貢献してまいります。

以 上